

「口腔腫瘍外来」 開設のお知らせ

歯科口腔外科部長：林 祐太郎

当科は日本口腔外科学会認定口腔外科専門医2名が常勤しており、口腔がん診療に積極的に取り組んでいます。

舌がん、歯肉がん、頬粘膜がんなどの口腔がんに対する最も有効な治療法は手術です。手術においては、十分な安全域を確保し切除することが良好な予後につながります。しかし、切除により審美障害や口腔の機能障害が起こることがあります。当科では、広範囲な切除を要する症例では形成外科と連携して、切除と同時に再建手術を行い、術後の障害が最小限となるよう努め、かつ十分な安全域を確保することで良好な治療成績が得られています。

初期の口腔がんは診断が非常に困難なことが多く、生検による病理組織学的検査は必須です。判断に迷う小さな病変であっても当科で慎重に精査させていただきます。また、粘膜病変だけでなく、エナメル上皮腫を疑う場合や大きな骨透過像を示す顎骨の嚢胞性病変等も予約可能です。

悪性腫瘍を強く疑う場合や病変が大きな場合は予約枠に限らず随時受け入れを行っていますので、お気軽にご相談ください。



初期舌扁平上皮癌



進行舌扁平上皮癌

対象疾患は舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん等の口腔がんを含む腫瘍性疾患や広範囲に及ぶ嚢胞性病変です。

ご予約は火曜日（午前）にお取りできます。

予約の際に「口腔腫瘍外来希望」とお伝えください

「インプラント外来」 開設のお知らせ

歯科口腔外科部長：林 祐太郎

当科ではインプラント治療におけるインプラント体の埋入手術、上顎洞底挙上術やリッジプリザベーションなどの骨造成手術を行っています。補綴治療やメンテナンスはご紹介元の歯科医院で行っていただきます。インプラント治療を取り扱っている歯科医院において、以下のような理由で自院でインプラント治療（埋入）を行うことができない患者さんをご紹介ください。



- ① 手術に対する恐怖心が強い患者さん
- ② 全身状態や内服薬（例:抗血栓薬）等によって手術にリスクのある患者さん
- ③ 解剖学的、外科手技的に治療が困難な患者さん

このような患者さんに対し静脈内鎮静法や全身麻酔を併用するなどして、安全に手術を行います。当科単独で治療計画を立てることなく、ご紹介元の歯科医院と術前から密な連携を取らせていただき、埋入部位等について十分に協議させていただきます。

インプラント外来へ予約される場合は、当院のホームページ（<https://www.hmedc.or.jp/department/dentistry-oral-surgery/>）もしくは下記QRコード）より「インプラント外来チェックリスト」を出力し記入のうえ、紹介状のFAXの際に合わせてお送りください。

ご予約は金曜日（午前）にお取りできます。
予約の際に「インプラント外来希望」とお伝えください。
「インプラント外来チェックリスト」のFAX送付をお願いします。
※抜歯等、一般口腔外科の予約枠とは別枠でご用意しています。



インプラント外来
チェックリストは
こちらから

